迎える。最近メディアに

本年我が国は、

新たな元号を

盟を結成した」と書いている。

第2次大戦後私たち能・謡曲愛

五流相集い能楽連

てはならないという気持ちで、 代社会の中でマイノリティにし

高秀秀信

No. 57

平成31年3月31日

束や小道具まで細かく描かれ、

横浜能楽連盟 会報

# 詽

### 場 洋

うか。 も、昭和から平成に替わったこ連盟創立から42年を経ての創刊 とがきっかけとなったのであろ 創刊は平成2(1990)年、 投稿が並んでいる。「幽玄」の 新時代への熱い思いがあふれる う喜びもあり、どのページにも の能楽堂の焼失以来の悲願が叶 ついても触れているが、

NHK - Eテレで放送された能う漫画を知った。作者は、昨年 物語である。 らも能楽師として成長していく 様々な経験を積んで、悩みなが た。「花よりも…」は代表作の に漫画家となり、1980年代 美奈子さん。彼女は高校生の時 の番組にゲストで出演した成田 りも花の如く」(白泉社) から少女漫画ブームを牽引し 元である祖父の内弟子に入り、 一つで、現代っ子の主人公が家 先日、 能を題材にした 能の物語をモチー 「花よ とい

最後の『幽玄』」となる。 ず申し上げると、本号は はないだろうか。ご多分に漏れ

幽玄」創刊号の巻頭言で、

の新堀豊彦会長は「能を現

立ち会う緊張感と同時に、新た 号への移行という歴史的瞬間に るのは、天皇の生前退位と新元 最後の」という文字がいやに躍

な時代への期待が大きいからで

伊勢山 に発刊されて以来、

く口にしておられた。これを解 である。新堀元会長も、「 年来の悩みの種は会員数の減少 している当連盟だが、この十数 楽の普及」を目的に掲げて活動 ている。「古典芸能の継承」「能 力ある連盟運営」が課題となっ振り返って足元を見れば「魅 連盟ホー のつどい」の記念大会開催、 創立70周年記念事業として、 決するためもあり、昨年は連盟 味の愛好者が増えない」と、よ をする人は増えたが、能楽が趣 幽玄」記念号の発行、そして 横浜五流能楽大会」「五流交流

県内にいる多くの能楽愛好者

うな人に回し読みをしてもらっ 遠い存在と思われがちだが、 強して正確に描いているね」と 冊を喜多流の友枝昭世師に読ん れは能愛好者拡大のツールの一 ている。少女漫画と聞くと一見 の感想をいただいた。その後 でいただいたところ、「よく勉 で刊行されている。そのうち数 いる。コミック本は2003年 読者にも分かりやすく描かれて 詞章や解説なども能を知らない 「大人買い」し、興味を持ちそ 現在18巻ま -第 34

ページの開設などを 観能

つになるのではないかと思う。 した。 いう、

える連盟であること、これらが えること、そして現在の会員に き、参加していただく方法を考 突き進んでいきたい。 このことを胸に、理事・会員の 鍵になるのではないだろうか。 は充実感と達成感を感じてもら に横浜能楽連盟を知っていただ 力を結集して、新たな時代へと とができました。

#### 回 五流能楽大会報告 金春流 桝山 俊

平成最後の五流能楽大会にし 局共催・横浜能楽堂後援による 能楽連盟主催·横浜市文化振興 浜能楽堂にて開催された、横浜 て、能楽連盟創立70周年記念と 重みのある大会でありま 30年10月13日土曜日、 横浜五流能楽大会」は 横

ら来ていただいた方もおられ 示いたしました。来場者には、 能楽堂廊下に多数の〃面〃を展 良い競演となったと思います。 ました。各流派の持ち味が随所 今大会からは下懸宝生流も参加 演者数は延べ350人でした。 首都圏だけでなく遠く宮城県か に表れそれぞれの違いを感じる 恒例の五流競演曲は し、更に厚みを増すことになり 面友会」の方々のご協力で、 また今大会では、会員である 番組は、 曲目が延べ45曲、 「老松」で 出

> 見所の皆様と「四海波」を合吟 し、この日の喜びを共にするこ 大変嬉しく思いました。 さらには、会長挨拶に際して

間が制限時間ギリギリとなり、 うございました。 ことを祈念して、ご報告とさせ と能楽連盟の活動と大会が続く として恐縮する次第です。 けしてしまった点は、担当流 運営者にご迷惑とご心配をおか た大会であったせいで、 ていただきます。皆様ありがと ただ、いろいろと熱のこもっ 今後も、さらに百年、二百年 終演時 派

#### 奇跡の部活半生記 観世流 水間

英樹

ばかりである。 活&部活仲間] 族・部活)の一つである「部 支えてくれた三本柱(仕事・ と思えてならない。私の半生を 出会い・ご縁に恵まれたからだ は「奇跡」とも言える幾つも ものだと驚くばかりだ。 って50数年。 だったとは言え、よく続 細く長くがモット にただ感謝する の世界と出 私的に いた 家 0

知る能 れ訳も分からず入った能楽サー学時、校内の路上で偶然勧誘さ クル「観世会」。生まれて初めて 一の奇跡…。東京での との奇跡

横浜能楽連盟ホームページアドレス(https://yokohama-nohgakurenmei.jp/)

幽

思いが、バネになったようにも 若かりし頃の武田志房師と熱血 思われる。 何としてもやり抜こう!」との わった大きな後悔から「今度は 道・弓道)が全て中途半端に終 中学・高校時の部活(野球・剣 惹かれていったこと、そして、 バイト(住込みの新聞配達)を 春の一ページ」となっている。 とができ、今でも懐かしい「青 や他校との交歓会、学園祭や合 指導の先輩方。おかげで自演会 しながらの部活は荷が重かった 宿など多彩な部活動を楽しむこ しずつ謡・仕舞や部活の魅力に 何とか全うできたのは、少

坂井音晴師へとバトンタッチさ (後の和謡会)」に出会った。社た数年後、今度は「県庁謡曲部 られたのは、先生方は勿論良き 導に通っておられた武川和洲師 た。先生は、当初は長野から指 だけでも約50年。ここまで続け で、その後東京の坂井音重師・ 分から喜んで入部申し込みをし まさに奇跡的な再会。今度は自 は本当に驚いた。私にとっては で部員募集の記事を目にした時 ただけに、社内報(教養月報) は縁が切れたとばかり思ってい 会人としてスタートし、能楽と 一の奇跡…。神奈川で就職し 今日に至っている。和謡会 励まさ

> するばかりである。 れてきたからだと、 心から感謝

信、 かりのNPO法人のお手伝いを声がかかり、師が立ち上げたば でいるところである。 つも、好奇心だけは旺盛に励ん う能楽界との関わりに戸惑いつ で、謡・仕舞の稽古とはまた違 とっては奇跡的な出来事の一つ 活動をされている。これも私に 能楽の普及・発展、世界への発 させて頂いている。坂井先生は 終えた後、坂井音重先生からお 三の奇跡…。退職し再 国際文化交流など、多彩な

て、 と願っている。 とえ叶わずとも、夢だけは持っ 座を実現させることである。た 奄美で初めての能公演・能楽講 意味を込め、遠く離れた故郷の 能楽界へのささやかな恩返しの これまでお世話になった方々や 望むのは大変な欲張りと思いつ つ、叶えたい奇跡が一つある。 四の奇跡(夢)…。これ以上 もう少し頑張っていきたい

#### 第 9 回横浜喜多会能楽大会 喜多流 廿日岩 朔朗

晴れとなった。午後1時半から 雨が心配されたが、当日は幸い か第2の土曜日に開催するため された。毎年梅雨時の6月第1 横浜喜多会能楽大会」が開催 30年6月9日、第9回の 出演者は約50名であ

祝言で17時過ぎ終演した。

熊坂」(洋謡会)と続き、

影するビデオカメラは馬場会長座椅子をセットした。公演を撮 は広く、そこに出て謡合わせを も多いと思うが、見所は座敷な 場や懇親会用の仕出しの予約を 完了。久良岐能舞台の美しい庭 の担当で、自らセットして準備 ので座布団を敷き、最後列には に利用されており、ご存知の方 た。久良岐能舞台は多くの社中 12時半頃から準備が進められ 会場の久良岐能舞台では、 イワイガヤガヤと盛り上がる。 だったが、賑やかなうちに19時 皆をうっとりさせた最長老の個 社中の新人の紹介と挨拶などワ ルとワンカップ大関で乾杯、各 ウギュウ詰めになった。 帰宅していった。 前に終宴。後片付けをして三々 その歌声を拝聴できなくて残念 人会員尾山さんが今回欠席で、 の赤飯とつまみの折詰、 みにしているので、 五々上大岡方面、 回まで余興で美声を響かせて 磯子方面へと かなりギュ

### 本舞踊における 観世流梅若会 山姥

する社中の人々も見られた。

1時半開演。番組はまず、

素

日

師」(出雲会)、連吟「杜若」 謡「巴」(浜友会)、独吟「弱法

(出雲会)、

会)、素謡「羽衣」(浜友会)、(出雲会)、連吟「三輪」(出雲 続いて、3人の小鼓による連調 独吟「鶴」(横浜粟谷会)、仕舞 安信会)、仕舞「杜若」(出雲会)、 仕舞「鉄輪」(出雲会)、素謡 姫」(横浜粟谷会)、連吟「玉葛」 ユーモアのある挨拶で一段落。 (出雲会) と進み、馬場会長の 羽衣」(藤謡会)、一管「神舞」 網之段」(出雲会)、独吟「山 終演後は素早く見所・舞台を 素謡「田村」(湘南 すと、能と日本舞踊との間には 前半・後半とも一人で演じるた ため、深山の精霊の心をもって 姥では、前半は能のツレの百萬 じたことがあります。地唄の山 あります。 驚くほどの違いを感じることが て)に携わってきた私から見ま 労をした覚えがあります。 舞わなければなりません。また 後半は能とほぼ同じ歌詞である 山姥(都の遊女)の趣で舞い、 め、変化が判りにくく、大変苦 長年日本舞踊(地唄舞も含め 地唄舞の「山姥」を演

流れを汲んでいます。 というと、歌舞伎の 日本舞踊における Ш 山姥 ストー 姥 1) 0)

していくのを見送るように扇子作があり、最後は怪童丸が下山様子を唄った歌詞に合わせた所

山の四季折々の美しい木や花の で、「山尽くし」と呼ばれる、 日本舞踊の場合は、演者は一人

その歌舞伎をもとに作られた

をかざし、下手下方を見て終わ

して開宴。皆この懇親会を楽し

片付け、楽屋として利用した座

情を見せ場とします。この三田の山姥(八重霧)の子別れの心三田仕(つごう)に引き渡す時 その時、自分と八重霧の子は大 光の命により強い家来を探して はその金太郎(幼名怪童丸)を は後の坂田金太郎で、歌舞伎で 子を産み育てます。生まれた子 その後八重霧は足柄山に籠って 変強くなるだろうと言い残し、 ったことを恥じて自害します。 った時行は自身で仇を討てなか 討を果たしてしまい、遅れをと 八重霧が、先に仇を見つけて仇 全国行脚をしていたのです。 人時行を手助けする恋人の遊女 実は渡辺綱の父親で、源頼 親の仇討を目指す坂田



るという型が主流です。

説で、 ながら仇を探し、仇討の後に仇 憶があります。 おどろおどろしい話も聞いた記 の臓物を食して懐妊したという すが)という恋文の代筆業をし (これも日本舞踊にある作品で また、故日大芸術学部教授の 遊女八重霧は「文売り」

の流れを汲んでいるように思わ 歌詞から推しても地唄舞は、能 山姥」には大きな違いがあり、 このように、 能と日本舞踊の

#### 小林副会長を偲んで 宝生流 山 添 富士子



幽

にここ数年病気を抱えておら 連絡が入りました。まさか!年 地はなくなっていました。確か 付けられる事実に、もう疑う余 宅にて逝去、享年79歳。10日通 いっぱいでした。1月3日に自 のに…と信じられない気持ちで 末の納会でお会いしたばかりな 美佐子さんが急逝されたという まだ松も取れない1月5日 宝生流の役員メールで小林 11日告別式と、次々に突き

れていました。 の地頭を朗々とした声で務めら 会にはほぼ顔を出し、謡や仕舞 て、 目がよく見えない」などと言っ ていました。それでも例会や大 会でも仕舞はやらなくなっ 会う度に「頭痛がひどい

されたのではないでしょうか。 楽連盟」を作る上で大きく貢献 理事たちの目指す「開かれた能 さったと思います。会長はじめ 加しやすい雰囲気を作ってくだ 女性理事や新人理事も会議に参 極的にどんどん発言して、他の 横浜能楽連盟では副会長を務 総会や理事会の席上では積

ないかと思うのが、残された者 らかに天国へ旅立たれたのでは で眠ったまま苦しみもなく、安 うで、帰宅後ゆったりとした中 また師の同門会の会長も務め、 からご冥福をお祈りします。 には唯一の救いと思います。心 姪御さん達と温泉に行かれたそ 体調の悪い中で多忙な日々を送 副支部長・横浜連合会副会長、 たのかもしれません。年末から っておられ、そのお疲れもあっ その他にも宝生流教授嘱託会

を少しでも安心させたいと思っ を精一杯進み、天国の小林さん ています。 を、築きつつあったこの先の道 れた我々は、彼女の築かれた道 あまりにも大きいですが、残さ 小林副会長が急に抜けた穴は

## 素人 のつぶやき 浜能楽連盟の「能楽や連

大嶋

晃

ます。 も演じたが衰え、寺社の行事だ 楽は、農耕儀礼に笛・鼓を鳴ら 等に演じた「猿楽」が、鎌倉時 けに伝えられ今に至る』とあり 猿楽は「狂言」になる。尚、田 ご覧時や宮中内侍所御神楽の夜 や言葉芸が中心で、皇室の相撲 平安時代の芸能で滑稽な物真似 B:広辞苑によると『能楽は日 盟」とは大層な名称ですね? し唄い舞ったものから後「能 代に演劇化し「能」に、本来の 本芸能の一。能と狂言の総称。

運びプロの舞台に触れるにつれ

ていよいよ惹きつけられ、かつ

とはいえ、謡も仕舞も一曲一曲

五十の手習いでは遅々たる歩み 年二十年が過ぎている…。四十

と稽古を重ね、能楽堂にも足を

無くてはならないものでした。 能楽は目覚ましく興隆、各流派 として保存復興を推し 楽堂→能楽会に変わる)が国劇 と呼ばれて、幕府等の為政者の B:いや大正元年には今の芸大 は程遠い存在の様ですが? A:すると、能楽は一般庶民に 依然として財界・政界の後援が に能舞台が設けられましたが、 能楽協会が成立し、昭和になり が「能楽」に改められました。 より組織された能楽社 に岩倉具視や華族諸侯の協力に 保護を受けましたが、明治時代 C:江戸時代まで能は猿楽の能 大正に入り能楽師が役員となる (後、能 「猿楽

> も広まりました。 は移設されている久良岐能舞台 で、囃子方養成もされ、

能を継承する余裕があったので 多かった荒廃した横浜に伝統芸 全国二位の米駐留軍接収面積の による後援の消滅。沖縄に次ぐ A:戦後殆んどの能楽堂は焼失

談役に各流派から複数職分が就 準職分の中村桃山氏で、「横浜 現となる「横浜能」へと繋がり いである毎年「演能」開催の実 で素謡大会を五流共催、 かれ、昭和23年に鶴見の総持寺 政・財・官の有力者が多く、相 能楽謡曲連盟」を結成。会員に のが、白楽在住の名士・観世流 C:能楽の為に奮闘努力された

連盟) 浜能楽連盟」に改名されました。 の体制となり、昭和43年に「横 われなくなり、「横浜能」一本 (出典「お能と横浜」横浜能楽 (次号に続く)

#### 猩々」って何? 金春流 請 眞由美

ら先達に恵まれてこの世界に入 味深く記されています。初めか 組むようになったプロセスが興 なきっかけを得てお稽古に取り 能楽を楽しむ会員の皆様が様々 毎号「幽玄」を拝見すると、

学生に れます。全くの素人がある日突 った人は少ないように見受けら

しょうか? 華族制度の廃止と財閥解体

> 間の邯鄲の夢、いつの間にか十 えられ、気が付くとあっという たまたま出会った能の魅力に

B:以降、謡曲の会が殆んど行 ました。 氏の願

うか、カナダの友人を訪ねた際 されました。 るわけもなく、あまりにも自国 とありました。能はもとより、 もらった人形」の由来を尋ねら ます。三十年も前になるでしょ は本当に幸運だったと思ってい 難解になっていく奥の深さ。 の古典文化に暗い自分に気付か んな私に筋の通った説明のでき れられてたまに見た程度で、そ 歌舞伎でさえ小さい頃祖母に連 人形の足元の木札には「猩々\_ 赤頭をつけた愛らしい木目込み れました。ガラスケースの中の のですが、この世界を知ったの 「以前日本に行った時お土産に 私自身も中年になって始めた

いすぐ参加しました。 知らせを見つけ、これだ!と思 をうたった全5回程の講座のお たか、外国人のための能楽入門 そんな時、 講師は喜多流の英 横浜市の広報だっ 細部は忘

第2回 5月25日 (土) 午後2時開演

「三社風流」(大蔵流) 山本則俊

国人で、 動き回ってすり足や扇の扱い、 鼓・笛の実演、自ら舞台狭しと は忘れられません。 発声の妙に惹きつけられたこと 解説してくれました。何よりも 仕舞等々を楽しくわかりやすく レクチャーの傍ら謡

ご縁あって金春流の故守屋泰利 それからすぐに先生を探し、

能

楽堂

だ

ょ 1)

年が、あっという間に過ぎまし をむさぼった盧生と同じく、始 私にとってかけがえのない十数 なほど心を満たしてくれ、以来 た謡や仕舞は、何もかも不思議 した。先生のご指導のもと始 先生の門下に入れていただきま めた頃からほとんど上達してい た。気付いてみれば邯鄲の眠り

続けております。 せず飽きることもなく、 ないのですが、不思議に焦りも にも恵まれて心地よくお稽古を

豊かに過ぎていきます。 ら謡本をめくるひとときが、心 のお声の入ったCDを聴きなが 謝しつつ、今日も懐かしい先生 この世界に導かれた幸せを感

# 31年4月~9月の公演案内

通りです。このほか、毎月第2日曜日に普及公演 「横浜狂言堂」を開催いたします。 31年4月以降の横浜能楽堂の公演予定は、 次の

「翁」(金春流) 山井綱雄 4月20日(土)午後2時開演 (※:完売

企画公演「東次郎 家伝十二番」(全12回

玄

狂言「花盗人」(大蔵流)山本東次郎 狂言「抜殼」(大蔵流) 山本則秀

狂言「楽阿弥」(大蔵流)山本則孝 第3回 6月22日 (土) 午後2時開演

狂言「花子」(大蔵流)山本東次郎

狂言「寝音曲」(大蔵流) 第4回 7月27日 (土) 午後2時開演 山本則俊

一船弁慶 重前後之替・船中之語・名所教

(観世流) 梅若紀彰

第6回 9月22日 (日) 午後2時開演 狂言「布施無経」(大蔵流)山本東次郎 狂言「朝比奈」(大蔵流)山本則秀 B席四千円、 第1回・第4回はS席六千円/A席五千円 「法師が母」 「月見座頭」 8月18日(日)午後2時開演 それ以外はS席四千円/A席 (大蔵流) (大蔵流) 山本東次郎 山本則重

> 三千円/B席二千五百円 チケット発売中

企画公演「史上空前の狂言会 30人超 vsたった1人」

狂言「唐相撲」(大蔵流)茂山千作 4 月 27 日 チケット発売中 S席五千円/A席四千円/B席三千円 「独り松茸」(大蔵流)茂山あきら (土) 午後2時開演

第67回横浜能

6月29日(土)午後2時開演

狂言「箕被」(和泉流)野村万作

チケット発売中 S席四千円/A席三千五百円/B席三千円 「隅田川」(金剛流) 豊嶋彌左衛門

特別企画公演「大典 奉祝の芸能

狂言「鷺」 第二日 7月20日(土)午後2時開演 創作舞踊「歌声の響」志田房子 ほ 第一日 第二日・S席七千円/A席六千円/B席五千円 第一日·S席六千円/A席五千円/B席四千円 「大典」 「かぎやで風」真境名正憲 宮城能鳳 6月2日(日)午後2時開演 (大蔵流) 山本則秀 (観世流) 片山九郎右衛門 ほ か

お仲間

だよ。在学中に舞台にも立てる 石もやっていた下懸宝生流の謡 大学の入学式を終え、 下懸宝生流

出かけた。 宝生流と縁の深い四国松山にも か必ず温泉付きが条件で、下懸 た。正座の足の痺れを癒すため があり、朝から晩まで稽古をし 稽古をつけた。年に一度は合宿 が後輩に入れ代わり立ち代わり った。それ以外は部室で、先輩 生の謡う一節に続いて大声で謡 島」で、先生は宝生弥一師。月 ま居酒屋に直行と相成った。 る。最初に稽古した曲は「竹生 下懸宝生流はワキ方の謡であ 畳の部室で正座し、先

うに思っている。

ずかではあるが理解が進んだよ

かなかった謡の奥深さにも、わ

みであった。学生時分には気づ 後の先生を囲んでの一杯も楽し 曜日に月3回程度、閑先生の稽

古を受けるようになった。稽古

えを受けた。閑先生の指導で、 ちゃんとダックスフンドの出迎自宅にお伺いすると、奥様と坊 羽衣の稽古が始まった。 が稽古するから」と言われ、ご ワキである。先生に「息子の閑 が巡ってきた。能「羽衣」の 大学3年の時に舞台のチャン 学生時

謡に出会っ

代に能は相当見ていたはずなの

に、見るのとやるのとは大違い

られるままに時が過ぎ、そのま から、「筋がいいよ」とおだて である。すぐさま大声での発声 足を運んだのが、謡との出会い 葉に誘われて、のこのこ部室に よ」と声を掛けられた。この言 謡をやってみないか。夏目漱 銅像の前を歩んでいた私は、 大隈公 っていた。火謡会に入会し、火からで、卒業から30年余りが経 組む余裕ができたのは平成16年 えている。 し、足さばき、片膝座りと、足の衣も、時間とともに重さが増 なっていた。ようやく謡に取 も手も苦しさに悶えたことを覚 けした。軽いと思っていた羽衣 方勤務もあって、 卒業後は会社勤めとなり、 先生には大変ご迷惑をおか 謡とは縁遠

地

先生、閑先生、欣哉先生と、三 物と思っている。 代にわたって謡の稽古をしてい た、あの坊ちゃんである。弥 謡会の稽古は、宝生欣哉師。 ただけるのも、 衣の稽古時にご自宅でお会いし 閑先生が亡くなられた今、 謡と出会った賜 羽火

横浜能楽連盟連絡先

TELO四五—八三五—二三六 ◎横浜能楽堂 ◎事務局

TELO四五一二六三一三〇五五

連盟後援行事

生流連合会第32回謡曲大会」8月24日(土)横浜能楽堂/「横浜金剛会第21回謡曲と仕舞のつどい」8月25日(日) 横浜能楽堂第二舞台 「第11回よこはま能の会」7月15日 (月) 横浜能楽堂/ 「宝生流教授嘱託会第6回全国大会」8月4日 目 横浜能楽堂/ 「横浜宝

チケット発売中